



ふくいの子どもたちの学力 全国トップクラス

平成25年度「全国学力・学習状況調査」の結果が発表され、福井の子どもたちは、国の調査開始以来、6年連続で全国トップクラスとなる好成績を収めました。

これは、子どもたちの頑張りはもちろんですが、長年の蓄積にさらに工夫を加える学校での熱心な指導、そして家庭や地域で子どもを支える環境が要因と考えられます。

学力の質をさらに高めるため、ゼロ歳から高校までの「福井型18年教育」を進め、子どもたちが将来、夢や希望を実現できるようしっかりと教育を展開していきます。



お問い合わせ 県教育振興課 0776-20-0557

幼児教育から小学校へのスムーズな移行

保育所・幼稚園から小学校へと進む際に、学習環境は大きく変わります。その時につまずかず、スムーズに移行してほしいもの。

そこで、保育士や幼稚園の先生が小学校教育の講座に参加し、幼児教育の改善を進めます。

また、小学校の先生が幼児教育研修を受講し、意見交換なども行いながら、保育所・幼稚園と小学校の相互理解を深めます。



小学校の先生の保育体験

高志高校での 中高一貫教育をスタート

中高一貫教育は、早くから目標を決めて高校入試のない時期を活用し、中学・高校間で学習する内容を移行させるなど、弾力的な教育を受けることができます。

そこで、平成27年4月から県立高志高等学校に1学年3クラスの附属中学校を設置。生徒一人ひとりの個性をより重視した教育の実現を目指し、地域や国際社会のリーダーとなる人材を育成していきます。



白川文字学で 楽しく漢字を学ぶ

白川文字学では漢字の成り立ちから、古代の生活・文化に関わるもとの意味を学びます。学習に活かせば、漢字のおもしろさ、奥深さを学びながら、漢字に親しみ、また、漢字が覚えやすくなります。

すでに県内すべての小学校で白川文字学を活かした漢字教育を取り入れ、今後は中学校や高校にも広がっていきます。

さらに、全国で新しい漢字教育を実践している教員等を表彰する「白川静漢字教育賞」を新たに設けました。全国の漢字教育を福井がリードします。

「故郷である福井を発信の地として、国語力を向上させる運動を展開したい」との白川静先生の思いを受け、楽しみながら身につける漢字学習を行っています。



白川文字学を用いた漢字学習

英語教育を充実



英語への興味を高めるための活動

グローバル化が進む社会で将来活躍していくにあたり、国際社会でコミュニケーションをとれる語学力は、とても有利です。

そこで、友達やALTと英語だけを使って合宿生活を送る高校生英語キャンプや、高校生約100人をアメリカに2週間派遣する語学研修を実施しています。

また、平成23年度より、全国一斉に小学生の外国語活動が導入されました。本県ではまず、小学4年生を対象に、セサミスト리트の映像で英語のあいさつや歌、簡単な会話に親しむ福井県独自の活動を進めています。5・6年生の本格的な外国語活動を行う前に英語に触れる機会を増やし、英語への興味や関心を高めます。

新しい職業教育の展開

本県が進める職業教育は、福井の産業の将来を担う人材を育成するためのものです。

そこで、産業界と連携して企業の経営者や技術者を学校に招き、直接指導を受ける機会を設けたり、現場で役立つ資格の取得や、技能大会への出場を支援しています。また、即戦力として活躍できるよう、生産の現場に向き、実践的な実習を行っています。

新しい技術や生産方法に応じた職業教育を進めるため、奥越・若狭地区に続き、来年4月、坂井地区の総合産業高校として「坂井高等学校」を開校する準備を進めています。



生産現場での実務研修

教員の授業力アップ

本県の教育水準をさらに高めるためには、教員の教える力のレベルアップが必要です。

分かりやすい授業により優れた実績をあげている教員を「授業名人」に任命し、公開授業等を通じて指導技術を他の教員に伝えています。また、名人の授業を収録したDVDを配布するなど、若手教員の授業力向上に努めています。

さらに、特色ある教育を実践している他県の学校に教員を派遣したり、予備校のセミナーに出席し、指導方法を研究して、教員の資質を高めています。



「授業名人」の授業

芸術教育で豊かな感性を磨く

学力・体力がトップクラスの福井では、子どもたちの様々な才能や個性を伸ばすことが、次なる目標です。

今年度は、音楽教育の強化に着手。普段は触れる機会が少ない弦楽器を小・中学校に貸与し、また、優れた演奏家を講師として継続的に派遣しています。



弦楽クラブの練習